シラバス情報照会　照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	4151270000	開講キャンパス	五橋
授業開講年度	2024年度		
科目コード	5102129920	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読Ｂ		
科目英字名称	Reading of Original Texts B		
単位数	1.0		
履修期	後期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	9999020	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	秋葉　勉		
テーマ	アメリカ短編小説の読解と分析		
講義内容	アメリカの代表的な作家であるEudora Weltyの短編小説を読みながら、小説技法や批評論について学ぶ。また、小説の背後にあるアメリカの文化・歴史的背景についても紹介する。毎回、学生中心に分担を決めながら読み進めていく。英語で主に授業を展開するが、日本語も補助的に使用する。授業は対面で行う。		
達成目標	①英語を正確に読解できるようになる。 ②アメリカの小説、歴史、文化的背景が理解できるようになる。 ③英語で自分の意見を言えるようになる。 ④小説の分析方法を習得することができる。 ⑤内容を英語で簡単に説明できる。		
授業計画 第１回	【事前学修】知っているアメリカ人作家１人について調べる 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） アメリカ文学について、授業ガイダンス、有効的な英語学習法 【事後学修】アメリカ文学の特徴を簡単にまとめておく。		
授業計画 第２回	【事前学修】Eudora Welty について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） 作家について、アメリカ文学の概略 【事後学修】作家について要点をまとめる。		
授業計画 第３回	【事前学修】作品の時代背景 について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） 作品の時代背景、作品分析① 【事後学修】アメリカ文学の特徴を簡単にまとめておく。		
授業計画 第４回	【事前学修】Realismの文学上の定義について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） Realismの定義と特徴、作品分析② 【事後学修】Realismの特徴、既習の小説技術を簡単にまとめておく。		

授業計画 第５回	【事前学修】symbol，imageの文学上の定義について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） symbol，imageの定義、作品分析③ 【事後学修】symbol, imageの特徴、既習の小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第６回	【事前学修】配布資料の単語・語句について調べる。metaphor，simileについて調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） metahor，simileの定義、作品分析④ 【事後学修】metaphor の特徴、既習の小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第７回	【事前学修】作品にあるsymbol，imageについて調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答）、作品分析⑤ 【事後学修】symbol, image の特徴、既習の小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第８回	【事前学修】metaphorとsimileの文学上の定義について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） metaphor, image の定義・特徴、作品分析⑥ 【事後学修】既習の小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第９回	【事前学修】作品中にあるmetaphor(simile)について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答）、作品分析⑦ 【事後学修】既習の小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第１０回	【事前学修】作品中にあるmetaphor(simile)について調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答）、作品分析⑧ 【事後学修】既習の語句、小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第１１回	【事前学修】前半の解釈の部分について調べ、自分の意見をまとめる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答） 作品前半部の問題点、作品分析⑨ 【事後学修】既習の語句、小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第１２回	【事前学修】後半の解釈の部分について調べ、自分の意見をまとめる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答）、作品分析⑩ 【事後学修】既習の語句、小説技術を簡単にまとめておく。
授業計画 第１３回	【事前学修】Webを利用してこの作品についての資料を調べる。 【授業内容】Warming-Up （英語による質疑応答）、批評分析① 【事後学修】批評方法を簡単にまとめておく。
授業計画 第１４回	【事前学修】大学図書館、インターネットにおいてこの作品の資料(批評論文）を調べる。 【授業内容】作品後半部の問題点、先行研究の分析、批評分析② 【事後学修】どのような研究分析が行われているかまとめる。
授業計画 第１５回	【事前学修】自分で選んだ批評についてまとめる。 【授業内容】作品解釈に関するディスカッション、到達度確認のためのテスト 【事後学修】文学作品の分析方法を整理すること。作品の内容と技法をまとめておく。
授業計画 第１６回	
授業計画 第１７回	
授業計画 第１８回	

授業計画 第１９回	
授業計画 第２０回	
授業計画 第２１回	
授業計画 第２２回	
授業計画 第２３回	
授業計画 第２４回	
授業計画 第２５回	
授業計画 第２６回	
授業計画 第２７回	
授業計画 第２８回	
授業計画 第２９回	
授業計画 第３０回	
成績評価方法	manabaのレポート機能を使ってレポートを提出させて評価をする。 (1)課題・小テスト（複数回）：主として達成目標①②③の達成度を測定。（15点） (2)確認テスト（1回）：主として達成目標①②③④の達成度を測定。（配点60×1回＝60点） (3)英語の質問への対応（５回）：主として達成目標③⑤の達成度を測定。（配点２点×５回＝10点） (4)受講態度・授業貢献度・積極性で最大15点。 ※各評価方法と評価基準・観点の詳細は開講時に説明。
学修に必要な準備	英和・英英辞典を準備すること。質問がある場合は教室内でも研究室でも可能。
関連して受講することが望ましい科目	英米文学、英米文学史
テキスト	開講時に指示する。
参考文献	必要に応じて指示する。
履修上の注意	①必ず予習をして授業に参加すること。 ②質問がある場合は教室内でも研究室でも可能。 ③授業は基本的に英語で行う。必要に応じて日本語を補助的に用いる。 ④常に英語で考える習慣と身に付けておくこと。 ⑤オフィス・アワー、担当教員のアドレスを開講時に公開する。 ⑥授業の5分の１を超えて欠席した場合は、確認テストの受験資格を失う。

カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。 【アクティブ・ラーニング科目】【BYOD実施科目】 【科目ナンバリング】A1-640-39-3R-3，A0-640-47-3R-3		
添付ファイル1		説明1	
添付ファイル2		説明2	
添付ファイル3		説明3	
添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2024年度	後期授業	木曜２校時	後期授業	五）講）L726

カリキュラム情報

項番	学生区分　所属区分	学部　学科　専攻・コース	適用入学年度
1	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2016年度
2	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2018年度
3	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2017年度～2018年度
4	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2019年度
5	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2100年度
6	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2020年度～2100年度
7	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2016年度
8	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2018年度
9	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2017年度～2018年度
10	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2019年度
11	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2100年度
12	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2020年度～2100年度

13	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2016年度
14	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2018年度
15	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2017年度～2018年度
16	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2019年度
17	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2100年度
18	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2020年度～2100年度
19	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2016年度
20	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2018年度
21	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2017年度～2018年度
22	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2019年度
23	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2100年度
24	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2020年度～2100年度
25	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度
26	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2018年度
27	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2017年度～2018年度
28	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2019年度
29	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2100年度
30	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2020年度～2100年度

戻る(X)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.